

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	自動車リサイクル推進事業費		<b>担当部局</b>	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度～		<b>担当課室</b>	企画課リサイクル推進室		室長 森下 哲		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	使用済自動車の再資源化等に関する法律		<b>関係する計画、通知等</b>	—				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	産業構造審議会及び中央環境審議会の合同会議における自動車リサイクル法に関する評価や指摘を踏まえ、使用済自動車のリサイクルに係る調査・検討等を行い、自動車リサイクル制度の安定的な運用や使用済自動車の循環的な利用の高度化等を図る。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	昨今、ポリ臭素化ジフェニルエーテル等の化学物質を含む廃棄物のリサイクルの在り方に関して国際的な議論が進んでいるところ、自動車については内装材等に難燃性が求められることから、臭素系を含めた難燃剤が用いられてきた。そこで、自動車リサイクルにおける有害物質対策の検討に資するため、国際的な規制動向や臭素系難燃剤を含有する廃棄物の分別技術等について調査を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	10	11	9	7	
		補正予算	-	0	0	0		
		繰越し等	-	0	0	0		
	計	-	10	11	9	7		
	執行額	-	7	12				
	執行率 (%)	-	70	110				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (各年度)
	自動車リサイクル法における自動車破砕残さ(ASR)の再資源化率		成果実績	%	77.5～82.1	79.9～87	調査中	30(～H21) 50(H22～)
			達成度	%	273.7	174		
	自動車リサイクル法におけるガス発生器(エアバッグ類)の再資源化率		成果実績	%	93.2～100	93～100	調査中	85
		達成度	%	117.6	117.6			
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	自動車リサイクル制度の安定的な運用等を図るための調査・検討等を行うものであり、定量的な活動指標の設定が困難である。		活動実績 (当初見込み)					—
<b>単位当たりコスト</b>	( 円 / )		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	9	7	人件費等の見直し				
	計	9	7					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	自動車リサイクル制度の安定的な運用等を図るために、国が調査・検討等を行うものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	自動車リサイクル制度の安定的な運用等を図る上で、不可欠な事業である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>自動車リサイクル法の円滑な運用等を図る上で不可欠な事業である。 今後、自動車リサイクル制度の施行状況を踏まえ、事業内容の重点化を図るとともに、引き続き競争性を確保し、事業の効率化に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>成果実績に調査・検討結果が反映されるよう、事業内容の精査・見直しを行い予算額を節減すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>事業内容を精査するとともに人件費等を見直し、概算要求額を減額。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	102

※平成23年度実績を記入

環境省  
12百万円



【総合評価入札】

A.(株)環境管理センター  
12百万円

使用済自動車の再資源化に係る臭素系難燃剤等対策調査業務

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(株)環境管理センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		12	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境管理センター	使用済自動車の再資源化に係る臭素系難燃剤等対策調査業務	12	2	96%